

## 5 級 大問 1～大問 4 過去問冊子

### 2011 年度春期～2017 年度冬期 出題ポイント一覧

☆検定試験の一番役立つ対策は「過去問」の解説書を過去数年にわたって読むことでしょうね。ただし、解説書を何冊も購入することは、コスト・パフォーマンス的に賢いやり方とも言えませんので、2011 年度以降の、大問 1 から大問 4 までの出題ポイントを冊子としてまとめてみました。

☆このような数年にわたる過去問のまとめは、学習の初期段階であればあるほど、試験対策として役立つものです。なぜならば、初期段階では、当然、出題範囲が限定されているので、過去問の「ほぼ網羅的」なまとめが可能だからなのです。過去問を「ほぼ網羅的」に学習していれば、試験会場で、どのような問題が出るかと不安になることもなく、「さて今回は『過去問のどの問題が選ばれたかな?』と、余裕を持って解答を「楽しめ」ますね。

また、出題に使用される語彙も、5 級の場合、550 語とありますが、どの語彙かは具体的に示されていません。市販の語彙集の上位 550 語を覚えても、それらが実際の試験に使用されるとは限らないわけです。しかし、5 級段階で使用される単語も当然、限定されます。そして、出題者も 5 級にふさわしい単語をと考える場合、やはり過去の出題で使用した単語を参照するはずです（します）。したがって、語彙の場合も、最も合理的な対策は過去問の語彙を覚えることと言えます。

☺この冊子が少しでも皆さんの受験の手助けになれば幸いです。是非、ゆとりを持って、受験を楽しんでくださいね。

2017 年 12 月

著 者

## 1 大問1 動詞の現在人称変化 (本書 37 頁～72 頁)

大問 1 は、動詞の人称変化形を選択肢として挙げ、出題文の ( ) 内に入る適切な形を選ばせるものです。以下は出題された動詞一覧です (出題年などは「17 年冬」のように略記します)。

17 年 冬	lieben	schwimmen	wohnen	studieren
夏	sein	arbeiten	sprechen	trinken
16 年 冬	sein	haben	werden	spielen
春	sein	machen	gehen	sehen
15 年 秋	sein	wohnen	studieren	finden
春	haben	arbeiten	reisen	fahren
14 年 秋	kommen	wohnen	finden	sprechen
春	sein	haben	heißen	kennen
13 年 秋	sein	haben	heißen	schlafen
春	sein	werden	studieren	sehen
12 年 秋	sein	arbeiten	sprechen	finden
春	kaufen	finden	kosten	möchten
11 年 秋	haben	bleiben	gehen	schlafen
春	sein	haben	kosten	gefallen

上掲の動詞を基本動詞と現在形の人称変化のタイプに基づいて分類すると、以下のようになります (カッコの数字は出題された回数)。

- ①基本動詞      sein (9)      haben (6)      werden (2)
- ②規則変化      gehen (2)      wohnen (3)      bleiben  
                    kennen      kommen      machen  
                    spielen      trinken      studieren (3)
- ③口調上の e    finden (4)      arbeiten (3)      möchten
- ④語末が -s など    heißen (2)
- ⑤不規則変化    sprechen (3)    schlafen (2)    sehen (2)  
                    fahren      gefallen

17年冬には、不規則変化形は出題されませんでした。過去に出題されたものを類似の用例とともに、以下に挙げてみます。

- 17年 夏 sprechen Er **spricht** schon gut Japanisch.  
彼はもう上手に日本語を話します。  
(注：14年秋，12年秋も出題されました)
- 16年 冬 werden Er **wird** bald 20 Jahre alt.  
彼はまもなく20歳になります。
- 16年 夏 sehen Max **sieht** gern Tennisspiele.  
マックスはテニスの試合を見るのが好きです。  
(注：13年春も出題されました)
- 15年 春 fahren Er **fährt** gern Auto.  
彼は車を運転するのが好きです。
- 13年 春 schlafen Die Katze **schläft** gern.  
その猫は眠るのが好きです。  
(注：11年秋も出題されました)
- 11年 春 gefallen Die Tasche **gefällt** mir sehr gut.  
私はそのバッグがとても気に入っています。

## 2 大問2 名詞，冠詞，人称代名詞，疑問詞 (本書 73 頁～105 頁)

大問2は、主に、①定冠詞，不定冠詞，所有冠詞，②3人称の人称代名詞，③疑問詞の知識を問うものです。ただし、毎回、これらのすべてが出題されるわけではありません。17年夏には、所有冠詞がはじめて出題されました。以下は、過去2年間の出題項目です。

- 17年 冬 定冠詞，人称代名詞 (人を受ける3人称)，疑問詞  
夏 不定冠詞，所有冠詞，人称代名詞 (事物を受ける3人称)
- 16年 冬 定冠詞，人称代名詞 (事物を受ける3人称)，疑問詞  
夏 定冠詞，人称代名詞 (事物を受ける3人称)，疑問詞

2.1 定冠詞，不定冠詞，所有冠詞の格変化形（本書 74 頁～87 頁）  
 名詞に付ける適切な冠詞の形を選択させる設問ですが，以下は，出題された名詞と冠詞の一覧です。

17 年 冬	Mann	（男性 4 格に付ける定冠詞）	— den
	夏 Sohn	（男性 4 格に付ける不定冠詞）	— einen
	Schwester	（女性 4 格に付ける所有冠詞）	— meine
16 年 冬	Blume	（女性 1 格に付ける定冠詞）	— die
	夏 Garten	（男性 1 格に付ける定冠詞）	— der
15 年 秋	Bruder	（男性 1 格に付ける定冠詞）	— der
	春 Hose	（女性 1 格に付ける定冠詞）	— die
14 年 秋	Auto	（中性 1 格に付ける定冠詞）	— das

2.2 3 人称の人称代名詞（本書 88 頁～94 頁）

名詞を繰り返し使う場合，名詞の代わりに人称代名詞（3 人称）を使うことができますが，その際の適切な人称代名詞を選ばせる設問です。以下は，出題された名詞と人称代名詞の一覧ですが，左側が先行文における（冠詞＋）名詞，右側がそれを受ける**正解の人称代名詞**です。先行文の名詞は **1 格**（ごくまれに 4 格），それを受ける人称代名詞も **1 格**（ごくまれに 4 格）。したがって，解答するにあたっては，まず，名詞に付いている冠詞を手がかりに文法上の性を確認し，その 1 格の形を選べば，ほぼ正解になります。

17 年 冬	mein Bruder	兄<弟>（男性）	→ er（1 格）
	夏 das Tor	門（中性）	→ es（1 格）
16 年 冬	Schuhe	靴（複数形）	→ sie（1 格）
15 年 秋	das Theater	劇場（中性）	→ es（1 格）
	春 das Haus	家（中性）	→ es（1 格）
14 年 秋	die CD	CD（女性）	→ sie（1 格）
	春 die Brille	メガネ（女性）	→ sie（4 格）
	einen Vogel	鳥（男性）	→ er（1 格）
13 年 秋	das Wörterbuch	辞書（中性）	→ es（1 格）

12年 秋	einen Hund	犬	(男性)	→ er (1格)
春	die Frau	女性	(女性)	→ sie (4格)
11年 秋	das Buch	本	(中性)	→ es (1格)
春	mein Hund	犬	(男性)	→ er (1格)

なお、従来は事物を受ける3人称の人称代名詞のみが出題されましたが、17年冬にはじめて人を表わす3人称の人称代名詞が出題されました。また、疑問文で **Sie**「あなたは…？」あるいは **ihr**「君たちは…？」と尋ねられた場合、返答文の主語がどうなるかを問う設問もありました(すなわち「私」で答えるか、「私たち」で答えるか?)。定動詞が単数形ならば **ich** (16年夏)、複数形ならば **wir** になりますね (13年秋)。

### 2.3 疑問詞 (本書 95 頁～97 頁)

適切な疑問詞を選択させる設問です。疑問詞には疑問代名詞と疑問副詞がありますが、前者の場合、格形も問題になります。以下は、出題された疑問詞一覧です(カッコの中の数字は出題された回数)。

17年 冬	was (3)	事物を表す目的語の疑問代名詞
16年 冬	wer	人の主語を表す疑問代名詞
夏	wie alt	年齢を尋ねる表現 (Wie alt bist du?)
15年 秋	was (2)	目的語の疑問代名詞
春	wo (3)	場所を表す表現
14年 秋	wie	氏名を尋ねる表現 (Wie heißen Sie?)
春	wo (2)	場所を尋ねる表現
13年 秋	wie spät	時刻を尋ねる表現 (Wie spät ist es?)
春	woher (2)	出身地を尋ねる表現
12年 秋	wohin	行き先を尋ねる表現
春	wo	場所を尋ねる表現
11年 秋	woher	出身地を尋ねる表現
春	was	目的語の疑問代名詞

### 3 大問3 語彙力 (本書 32 頁～35 頁)

大問3は、意味的に同一のグループの3つの単語とそれらに属さない1つの単語を選択肢として並べ、その中から、他と異なる単語を選択させるものです。

意味的同一グループを作る単語として、以下のようなものがこれまでに  
出題されました。

- |       |           |                           |
|-------|-----------|---------------------------|
| 17年 冬 | (A) 数字    | (acht 「8」 など ; 2回)        |
|       | (B) 月名    | (Januar 「1月」 など ; 2回)     |
|       | (C) 果物    | (Apfel 「リンゴ」 など)          |
| 夏     | (A) 一日の区分 | (Nacht 「夜」 など)            |
|       | (B) 移動動詞  | (gehen 「行く」 など)           |
|       | (C) 身体部位  | (Hand 「手」 など ; 2回)        |
| 16年 冬 | (A) 親族    | (Vater 「父」 など ; 2回)       |
|       | (B) スポーツ  | (Ski 「スキー」 など)            |
|       | (C) 温度    | (kalt 「冷たい」 など ; 2回)      |
| 夏     | (A) 飲み物   | (Milch 「ミルク」 など ; 2回)     |
|       | (B) 色     | (rot 「赤い」 など ; 2回)        |
|       | (C) 数字    | (neun 「9」 など)             |
| 15年 秋 | (A) 職業    | (Lehrer 「教師」 など)          |
|       | (B) 品詞区分  | (動詞 (prechen 話す) かどうか)    |
|       | (C) 家具    | (Bett 「ベッド」 など ; 2回)      |
| 春     | (A) 建造物   | (Bahnhof, Museum など ; 4回) |
|       | (B) 気候    | (Wind など)                 |
|       | (C) 評価    | (gut など)                  |
| 14年 秋 | (A) 教育関係者 | (Lehrer, Student など)      |
|       | (B) 自然    | (Berg など ; 3回)            |
|       | (C) 色     | (blau など)                 |
| 春     | (A) 食器    | (Gabel など)                |
|       | (B) 動物    | (Katze など)                |
|       | (C) 曜日    | (Dienstag など)             |

- |       |          |                           |
|-------|----------|---------------------------|
| 13年 秋 | (A) 天体   | (Mond など)                 |
|       | (B) 乗り物  | (Bus など)                  |
|       | (C) 着衣   | (Hose など)                 |
| 春     | (A) 身体部位 | (Hand など)                 |
|       | (B) 建造物  | (Hotel など)                |
|       | (C) 親族   | (Mutter)                  |
| 12年 秋 | (A) 飲み物  | (Bier など)                 |
|       | (B) 建造物  | (Kino など)                 |
|       | (C) 食べ物  | (Brot など)                 |
| 春     | (A) 温度   | (warm など)                 |
|       | (B) 自然   | (Wind など)                 |
|       | (C) 書き物  | (Brief, Buch, Zeitung など) |
| 11年 秋 | (A) 時間   | (heute など)                |
|       | (B) 建造物  | (Hotel など)                |
|       | (C) 自然   | (Berg, Meer など)           |
| 春     | (A) 店    | (Kaufhaus など)             |
|       | (B) 家具   | (Tisch など)                |
|       | (C) 月名   | (Juli など)                 |

#### 4 大問4 音声 (本書7頁～30頁)

大問4は、主に①発音(つづりの読み方)、②アクセント、③母音の長短、④文アクセントの知識を問うものです。

##### 3.1 発音(つづりの読み方; 本書8頁～12頁)

出題対象になるつづりの数は限られていますし、出題語彙は基本的なものに制限されるため、準備をすれば、必ず点を取れる問題です(カッコの中の数字は出題された回数)。

<年度別出題問題一覧>

##### 出題対象のつづり

17年 冬 **ch** (2) [ハ/ホ/フ] か [ヒ] か

	夏	<b>b</b>	(2)	有声か無声か
16年	冬	<b>h</b>	(2)	長母音の印か読むものか
	夏	<b>b</b>		有声か無声か
15年	秋	<b>g</b>		有声か無声か
	春	<b>d</b>	(2)	有声か無声か
14年	秋	<b>-st-</b>		[スト] か [シュト] かなど
	春	<b>ch</b>		[ハ／ホ／フ] か [ヒ] か
13年	秋	<b>v</b>	(2)	[フ] か [ヴ] か
	春	<b>ie</b>		[イー] か イエ] か
12年	秋	<b>d</b>		有声か無声か (Stadt の dt も)
	春	<b>h</b>		長母音の印か読むものか
11年	秋	<b>v</b>		[フ] か [ヴ] か
	春	<b>eu, äu</b>		[オイ] と他の二重母音

<出題されたつづり字と単語一覧>

- ①**b**      **blau aber sieben leben lieber**  
(語末 : **halb**)
- d**      **danken dunkel wandern Stunde**  
(語末 : **Hand Land seid — Stadt**)
- g**      **glauben grün Auge Frage sagen Wagen**  
(語末 : **Tag Zug**)
- ②**v**      [フ] **Vater verstehen vier Vogel**  
[ヴ] **Vase Klavier November Pullover**
- ③**ch**      [ハ／ホ／フ] **Dach Nacht kochen Tochter Buch**  
[ヒ] **sprechen sechzehn**
- ④**s**      [ス] **Dienstag gestern Post**  
[シュ] **Schüler Spiel Studentin Stadt**  
[有声] **Salat**
- ⑤**h**      長母音の印 **Bahn Jahr gehen ihn Schuhe früh**  
読む **h      wohin woher**
- ⑥**ie**      [イー] **Liebe Spiegel Wien**

[イエ] Familie

⑦ **eu, äu** [オイ] **heute Freund ; Bäume** (複数形)

### 3.2 アクセント (本書 13 頁～16 頁)

出題は、アクセントが第 1 音節にあるものと第 2 音節にあるものを混ぜ合わせて、アクセントの位置を問うものです。したがって、第 1 音節にアクセントのない例外的な語をしっかりと把握しておくことがポイントになります。なお、アクセントの位置を「混在」させるには、以下のような方法があります。

① 第 1 音節にアクセントがない**外来語**を「混在」させる。

② 第 1 音節にアクセントがない **...ieren** 動詞、**接頭辞** (ge-/Ge- など) の単語を「混在」させる。

◀ 第 1 音節にアクセントのない出題単語一覧 ▶ (\* は複数回出題)。

① 前つづり	<b>Beruf</b>	<b>Geburtstag</b>		
② ...ieren動詞	<b>studieren</b>	<b>telefonieren</b>		
③ その他	<b>April</b>	<b>Familie</b>	<b>gerade</b>	<b>Japaner</b>
	<b>Japanisch</b>	<b>Kartoffel</b>	<b>Klavier</b>	<b>Kultur</b>
	<b>Moment</b>	<b>Musik*</b>	<b>Orange</b>	<b>Regal</b>
	<b>Salat</b>	<b>Semester</b>	<b>Student</b>	

### 3.3 母音の長短 (本書 17 頁～23 頁)

母音の後ろの子音字の数がポイント。「母音の後ろにある子音字が一つの場合あるいは **h** がある場合は長母音 (Leben, Uhr など)、二つ以上の場合は短母音 (Ecke など)」というのが基本規則。ただし、**ch** の場合、前の母音が長いこともあります (Buch, Woche など)。また、複数子音字の前の母音が長い場合もあります。

< 出題傾向 >

13 年秋から 17 年冬まで、母音の後ろの子音字の数によって長短が決まる単語が出題されています。13 年春には、母音の後ろに子音が 2 つ以

上あるのに母音が長くなる例外的単語（Österreich など）が出題されました。

<出題された単語一覧；\* は複数回出題>

①後ろの子音字が1つの長母音

〔名詞〕	<b>Frage*</b>	<b>Hose</b>	<b>Leben</b>	<b>Monat</b>	<b>Japan</b>
	<b>Name*</b>	<b>Öl</b>	<b>Radio</b>	<b>Schüler</b>	<b>Tag</b>
	<b>Tür</b>	<b>Vater</b>	<b>Zug</b>		
・例外	<b>Buch</b>	<b>Österreich</b>			
・第1音節以外					
	<b>Gemüse</b>	<b>Salat</b>	<b>Universität</b>		
〔動詞〕	<b>fragen</b>	<b>geben</b>	<b>haben</b>	<b>holen</b>	<b>hören</b>
	<b>rufen</b>	<b>sagen</b>	<b>schlafen</b>		
〔その他〕	<b>grün</b>	<b>gut</b>	<b>neben</b>	<b>schon</b>	<b>schön</b>
	<b>über</b>				

②つづり h の前の長母音

**Jahr**    **ohne**

③後ろの子音字が2つ以上の短母音

〔名詞〕	<b>Ball</b>	<b>Mutter</b>	<b>Sonne</b>	<b>Sommer</b>
	<b>Tasse</b>	<b>Bäcker</b>	<b>Ecke</b>	<b>Flasche</b>
	<b>Glück</b>	<b>Hand</b>	<b>Heft</b>	<b>Köln</b>
	<b>Kopf</b>	<b>München</b>	<b>Mund</b>	<b>Oktober</b>
	<b>Salz</b>	<b>Welt</b>		
・複数形	<b>Gäste</b>	<b>Hände</b>		
〔動詞〕	<b>helfen</b>	<b>kennen</b>	<b>lernen</b>	<b>möchte</b>
	<b>öffnen*</b>	<b>tanzen</b>		
〔その他〕	<b>alt</b>	<b>jetzt</b>	<b>schnell</b>	<b>sechs</b>

④つづり字 ch の後ろの短母音

**Küche\***    **Tochter**    **Woche\***

### 3.4 文中で強調される語（本書 24 頁～30 頁）

質問文と返答文を並べ、返答文の中で最も強調される語を選ばせる文アクセントの問題です。これには、以下の二つのタイプあります。

①質問文が補足疑問文の場合、疑問詞に答える語が最も強調されます。

**何が**（疑問詞）好きですか？

—**ワインが**（疑問詞に答える語）好きです。

②質問文が決定疑問文の場合、質問文と対比的な関係にある語が最も強調されます。

**ケルンに行く**のですか？

—いいえ、**ベルリンに**（対比的関係の語）行きます。

<年度別出題問題一覧（返答文の太字が最も強調される語です）>

17年 冬 おじさんのところは**日曜日**に行くのですか？

—いいえ、（行くのは）**土曜日**です。

17年 夏 その男性は**20**歳ですか？

—いいえ、彼は**30**歳です。

16年 冬 明日**映画**を見に行くのですか？

—いいえ、（映画でなく）**芝居**を見に行きます。

16年 夏 **何**を食べますか？

—**スパゲッティ**を食べます。

15年 秋 **ケルン**に住んでいるのですか？

—（ケルンでなく）**デュッセルドルフ**に住んでいます。

15年 春 **ビール**が好きですか？

—（ビールよりも）**ワイン**の方が好きです。

14年 秋 **君のお父さん**の？

—いいえ、（父でなく）**おじ**のです。

14年 春 **どの**くらい長く？ —**1**年…。

13年 秋 **なぜ**来ないのか？ —**病気**なのです。

13年 春 **誰**がドイツ語を上手に話しますか？

—**David** です。